

IV-136

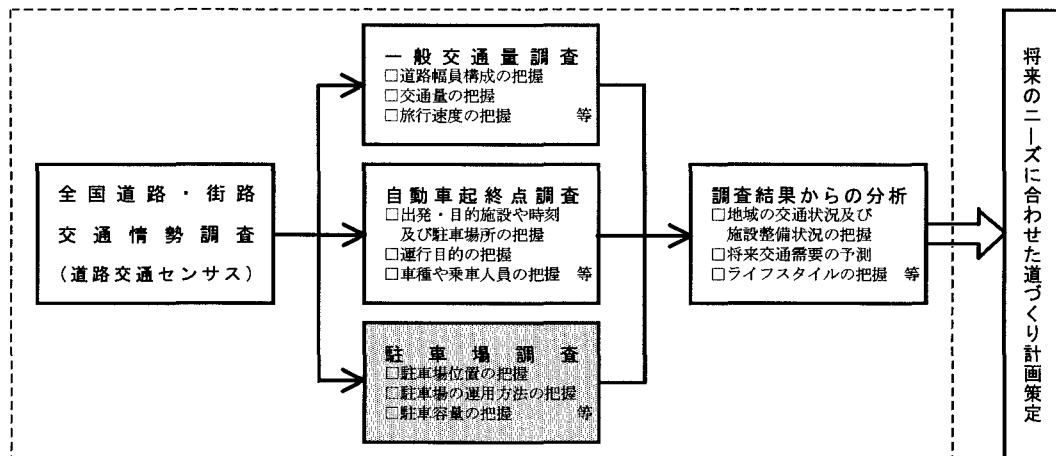
道路交通センサスにおける駐車場調査

駐車場整備推進機構 正会員 一守 由紀夫
 建設省都市局都市交通調査室 金子 健
 建設省道路局道路環境課 石坂 聡
 大日本コンサルタント 石月 謙一
 パシフィックコンサルタンツ 玉置 善生

1. はじめに

道路交通の現況を把握し、将来にわたる道路の整備計画の策定に資する基礎資料を得ることを目的として、建設省、地方公共団体等によって3～5年ごとに「全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）」が実施されている。道路交通センサスは、「一般交通量調査」と「自動車起終点調査」で構成されるが、都市内における有効かつ効率的な駐車場整備を図るために、平成6年度調査では新たに全国主要都市を対象とした駐車場施設に関する「駐車場調査」が追加されることになった。（下図参照）

本文では、平成6年度に実施された駐車場施設実態調査の結果について、現段階での概要の報告を行う。



2. 調査目的

本調査は、道路交通センサスの一環として、全国主要都市における駐車場施設の位置、規模、形態などを調査し、今後の駐車場の計画、建設などについての基礎資料を得ることを目的としている。また「自動車起終点調査」と連動しているため、駐車に関する需要との関係についての把握が可能となり、さらに経年的な駐車供給量を把握することで、駐車場整備地区や附置義務条例などの施策に関する影響把握や、道路整備などの様々な都市環境の変化に伴う駐車場への影響把握なども可能となると考えられることから、今後の駐車場整備を効率的に行うための検討資料としていくものである。

3. 調査概要

(1) 調査対象

人口20万人以上の都市及び県庁所在都市（全国130市区）を対象に、商業地域全域とそれ以外の用途地域内から抽出した一部地域（工業専用地域除く）における駐車容量5台以上の施設を調査した。ただし駐車区画が明確に仕切られていないものや、車庫や展示場として利用されているものは対象外とした。

(2) 調査項目

駐車場名称、所在地、付帯施設状況、駐車場形態、時間制料金、駐車場の運用方法及び容量の各項目を

現地において調査し、このほか道路交通センサスにおけるBゾーンコード及び用途地域名称も追記した。

（３）調査方法

駐車場施設実態調査は、調査対象地区に調査員が実際に出向き、調査対象となる駐車場施設について目視により実施した。現地においては、調査員が所定の図面に駐車場位置をプロットするとともに、調査票の各調査項目への記入を行った。

４．調査結果

全国主要都市の商業地域において、駐車場設置箇所数は約11万箇所、整備台数は約260万台となっている。

○駐車場様式別には、全体の90%以上が単独様式となっており、中でも自走式単独の駐車場が80%、容量にして約210万台を占めている。

○駐車場構造別には、全体の90%以上が単独構造となっており、中でも平面式単独の駐車場が最も多く64%、容量にして約160万台、次いで立体式単独の駐車場が24%、約60万台となっている。

○駐車場運用方法別には、平日で月極及び専用駐車場がそれぞれ40%弱、約100万台となっており、時間貸し駐車場は21%、約50万台となっている。休日では、平日に比べて全体的に容量が減少しており、特に専用駐車場で減少量が多くなっている。

表．商業地域における駐車場整備台数集計表（全国130市区計）

		様式別整備台数				構造別整備台数				運用方法別整備台数	
		(千台)	(%)			(千台)	(%)			(千台)	(%)
単独	自走式	2,107	80.2	単独	地下式	106	4.0	平日	時間貸し	554	21.1
	機械式	327	12.5		平面式	1,615	61.5		月極	992	37.8
	二段多段式	40	1.5		立体式	628	23.9		専用	955	36.3
併用	自走+機械	70	2.7	併用	プレハブ式	40	1.5		その他	39	1.5
	自走+二段	41	1.6		地下+平面	27	1.0		(不明)	87	3.3
	機械+二段	5	0.2		地下+立体	36	1.4	平日計		2,627	100.0
	その他	3	0.1		地下+プレハブ	0	0.0	休日	時間貸し	500	21.2
(不明)		34	1.3		平面+立体	110	4.2		月極	955	40.5
合計		2,627	100.0		平面+プレハブ	14	0.5		専用	780	33.1
併用	自走+二段	41	1.6		立体+プレハブ	2	0.1		その他	39	1.6
	機械+二段	5	0.2		その他	10	0.4		(不明)	81	3.5
	その他	3	0.1		(不明)	40	1.5	休日計		2,354	100.0
	(不明)	34	1.3		合計	2,627	100.0				

注1) 二段多段方式：機械によって駐車を行う駐車場のうち、二段方式や多段方式などの簡易な機械式駐車装置を使用しているもの

注2) プレハブ式：屋根板に穴をあけて簡易に組み立てられている一層二段の自走式駐車場に代表されるプレハブ式の立体駐車場

注3) 併用：駐車場様式及び構造について、複数の様式及び構造から成っている駐車場

５．おわりに

現在、集計・分析作業を進めているところであり、引き続き以下に示す項目について検討を行っている。

○駐車場施設実態調査結果の拡大

駐車場施設実態調査の対象から除かれた収容台数5台未満の施設、及び非抽出地域における駐車場容量を推計し、全駐車場容量への拡大を行う。

○駐車需給関係の分析

駐車場施設実態調査結果の拡大作業から算出される駐車供給量と、自動車起終点調査結果の自動車集中量から算出される駐車需要量との関係について分析を行う。

○駐車場整備状況に関する分析

駐車場整備状況と都市規模や産業構造、公共交通施設整備状況等との関係について分析を行い、都市の特性に応じた駐車場整備の在り方を検討する。